

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（1）

都道府県名： 富山県

計画の名称： 射水地域広域活性化計画

1) 事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
①射水地域における広域観光を支援する道路ネットワークの形成	基幹事業	道路事業（（主）小杉婦中線 戸破～針原）	○	
		道路事業（（都）二口北野線 大島北野～二口）	○	
②射水地域の美しい自然景観（水辺）を活かしたまちづくり	提案事業	まちづくり計画策定、シンポジウムの開催	○	

○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み -：事業を中止

2) 目標の達成状況

計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
射水地域の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした魅力ある観光資源に多くの観光客が訪ねてくること	計画で定めた目標指標	①観光客入込み数（射水市） （県外）	68万人（H17年）	75万人（H23年） （1割の増加）	100万人（H21年） ※H22から調査方法変更によりH23データ無し
	目標指標以外の成果指標	②観光客入込み数（延べ数） （海王丸パーク、太閤山ランド）	120万人（H17年）	-	139万人（H23） （H17比1.16）
	その他の定性的な成果	<ul style="list-style-type: none"> 「水辺のまち夢プラン」の策定等による都市観光の魅力向上 「水辺のまち夢プラン」を策定し、シンポジウムを開催するなど、射水市や地元関係団体等と連携・協力しながら、魅力ある水辺空間の賑わい創出と、官民協働による水辺のまちづくりを推進した。また、平成21年には、内川沿いに「川の駅新湊」が整備され、新たな賑わい拠点が生まれた。 			

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（２）

3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法	計画で定めた目標指標	目標指標以外の成果指標	その他定性的な成果
		①観光客入込み数（射水市） （県外）	②観光客入込み数（延べ数） （海王丸パーク、太閤山ランド）
事業効果の発現状況	・（都）二口北野線等の道路改良工事の進捗により、国道8号等と観光地とのアクセス性が向上し、観光客が増加した。	・（都）二口北野線等の道路改良工事の進捗により、国道8号等と観光地とのアクセス性が向上し、観光客が増加した。	・「水辺のまち夢プラン」を策定し、シンポジウムを開催するなど、射水市や地元関係団体等と連携・協力がなされた。
外部要因の影響	・平成20年後半からは、世界的な金融危機による景気後退や新型インフルエンザの影響を受けて、全国的に旅行者が減少 ・平成23年は、東日本大震災の影響により団体客のキャンセルが相次ぎ、全国的に観光客が減少した。	・計画期間中は、海王丸パーク付近で、日本海側最大級の斜張橋が建設されていたことも観光客の増加に寄与した。	・平成21年には、内川沿いに「川の駅新湊」が整備され、新湊に新たな賑わい拠点が生まれた。
目標達成・未達成の要因 （問題点の把握）	・観光客入込数の集計方法が変更されたため、H21年の値であるが、H23年の主要な観光地への観光客入込数も考慮すれば、目標は達成されたと考えられる。	・特に無し	・「水辺のまち夢プラン」の策定等を通して、内川周辺地域にて新たな賑わいが創出された。
目標の達成・未達成区分	S		
全体計画の総合評価	<p>・計画で定めた目標指標については、調査方法の変更により目標年度前の値であるが、目標を達成することができた。これは、道路整備によるアクセス性向上だけでなく、市内観光地の魅力向上（川の駅新湊の整備、道の駅新湊の「白エビかき揚げ丼」のPRなど）への地道な取組みによるものである。</p>		

S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った
A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない
B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った
C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

4) 事後評価の手続き

実施体制・実施時期	・部内評価にて確定（平成25年3月）
結果の公表方法	・富山県ホームページにて公表を行う。 URL： http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1510/index.html

広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（3）

5) 今後の活性化方策の検討

①未達成目標の改善方策

計画で定めた目標指標	目標の達成状況	改善方策

②今後の広域的地域活性化方策

石川～富山における広域交流活性化計画のもと、温泉や優れた自然景観、歴史、文化施設など、数多くの観光拠点施設を有する石川県と富山県が密接に連携し、北陸新幹線や北陸自動車道等の交通結節点と観光拠点施設間、または拠点施設を相互に連絡する広域的な周遊ルートを整備することにより、交流人口を増大させ地域振興を図る。
また、両県が連携して、より広域的なPRを実施することで、広報活動の効率化を図る。

6) フォローアップ

計画目標	フォローアップが必要な目標指標	フォローアップ時期	フォローアップの公表方法

射水地域広域活性化計画

事後評価

計画のポイント

計画期間:平成19年～平成23年

- ・東海北陸自動車道等の整備充実に伴い、飛騨・東海地方などとの広域交流の拡大が期待される射水地域において、海王丸パークなど地域内の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした観光資源を連携させて広域観光の活性化を図る。
- ・そのため、観光資源を相互に連絡する道路整備を行うとともに、美しい自然景観(水辺)を活かしたまちづくりを進める。



1. 計画の目標

射水地域の美しい景観、豊かな歴史・文化を活かした魅力ある観光資源に多くの観光客が訪ねてくること。

2. 目標指標

目標

【県外観光客入込数】

約68万人(H17) ⇒ 約75万人(H23)

実績

【県外観光客入込数】

約100万人(H21) **H17比 1.47倍**

※調査方法の変更によりH23データ無し

(参考)

【海王丸パーク、太閤山ランド観光客入込数】

約120万人(H17) ⇒ 約139万人(H23)

H17比 1.16倍

目標は達成

3. 事業実績

- ・道路整備 (主)小杉婦中線(射水市戸破～針原) 本事業による範囲が整備完了
- ・道路整備 (都)二口北野線(射水市大島北野～二口) 本事業による範囲が整備完了
- ・提案事業 アンケート調査の実施、シンポジウムの開催

4. 全体計画の総合評価

計画で定めた目標指標については、集計方法の変更により目標年度前の値であるが、目標を達成することができた。これは、道路整備によるアクセス性向上だけでなく、市内観光地の魅力向上(川の駅新湊の整備、道の駅新湊の「白エビかき揚げ丼」のPRなど)への地道な取り組みによるものである。